

(注) 当該データ及び数値を利用したことについて生じる結果について、NRIは、一切の責任を負うものではなく、また、当該データ及び数値の内容について、完全性、最新性、特定目的への適合性等、一切の保証を行いません。また、利用者が、利用者の判断の主要な根拠として依拠すべきものではなく、利用者は、行おうとする取引について、必要に応じ、ビジネス・アドバイザー、弁護士、税理士、会計士等の専門家と相談するようお願いいたします

インフルエンザ予防接種の効果について ～インターネットアンケート調査結果～

2019年7月8日

株式会社野村総合研究所
コンサルティング事業本部

■ 本調査結果は、生活者の視点からインフルエンザの予防接種の効果を感じられるか否かを、インターネットアンケート調査結果から推察したものである。

● 即ち、

- インフルエンザの罹患有無は、アンケート回答者の主観による判断結果である。そのため、実際にはインフルエンザに罹患していても、本人が風邪と誤認したり、非常に軽い症状でインフルエンザとも風邪とも感じられず、「インフルエンザに罹患しなかった」と回答しているケースがありうる
- インフルエンザに罹患したと回答している人の中には、医療機関で確認した人とそうでない人が混在している
- インフルエンザワクチンの接種回数や接種のタイミング等については考慮していない

■ アンケートの概要

- インターネット調査
- 有効回答数:59,079
 - ・ 回答者の年代、地域による割付を実施
- 調査実施時期:2019年6月

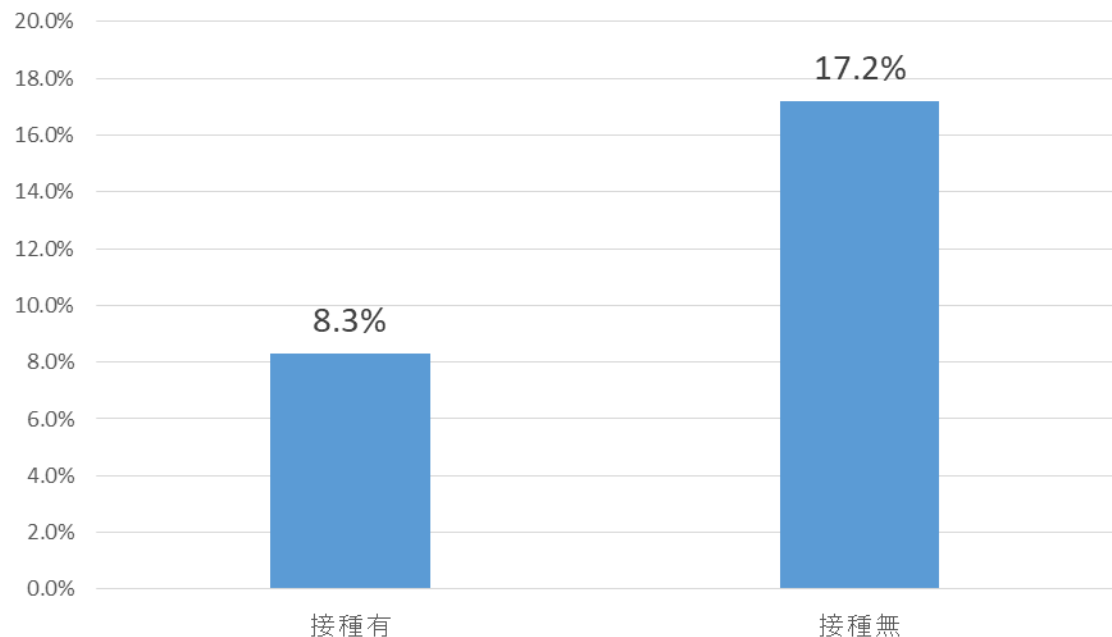
あなたは、この冬（又は春）、インフルエンザにかかりましたか。

（ひとつだけ）【必須】

- インフルエンザにかかっていない（ワクチンを接種していた）
- インフルエンザにかかっていない（ワクチンを接種していない）
- インフルエンザにかかった（ワクチンを接種していた）
- インフルエンザにかかった（ワクチンを接種していない）

2018～2019年の冬春に関しては インフルエンザワクチン接種により、罹患率を半分程度に低減させる効果が見られた

インフルエンザ罹患率



	罹患なし (接種済)	罹患なし (接種なし)	罹患(接 種済)	罹患(接 種なし)	総計
回答数	20,033	30,849	1,810	6,387	59,079

居住地域のタイプ別にみた罹患率の差異

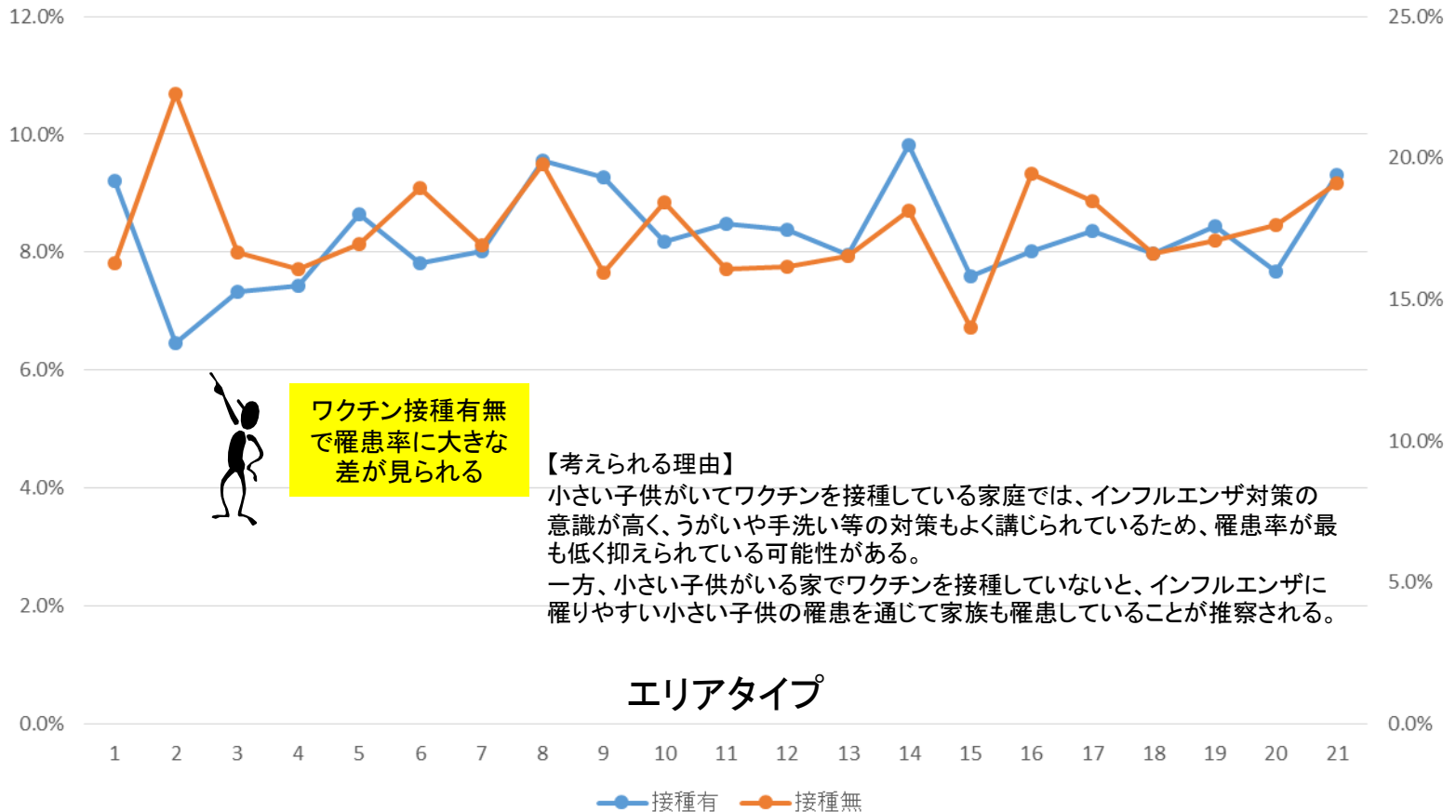
- Market Translatorでは、全国の町丁目別住所を、その地域特性に応じて21のエリアタイプに分類したデータベースを用意しております。インフルエンザに関するアンケート調査結果においても、回答者の居住地域をこの21エリアタイプで集計しております。

エリアタイプNo	エリアタイプ名称
1	日本の平均的郊外地域
2	小さい子供と住宅ローンを抱えたファミリーが多く住む郊外地域
3	高齢化が進む生活のゆとりが小さい半農地域
4	製造業従事者が多く住む郊外地域
5	金融資産が少ない70代夫婦が多く住む郊外地域
6	生活にゆとりがある単身世帯が多く住む都市地域
7	生活にゆとりがない高齢者が多く住む地方エリア
8	若い単身世帯が多く住む郊外地域
9	経済的に恵まれたファミリー層が多く住む郊外マンション地域
10	生活にゆとりのある若い単身借家世帯が多い都市地域
11	10代の子供を抱え生活のゆとりが少ないファミリー層が多く住む地方エリア
12	ファミリー層が比較的多く住む郊外地域
13	世帯人数が多いファミリーが比較的多く住む郊外マンション地域
14	若いファミリーが多く公務員宿舎が立地する郊外住宅地
15	生活にゆとりがない高齢夫婦世帯が多く住む地方エリア
16	住宅取得ニーズが強い若い単身世帯が住む都市地域
17	平均的な金融資産を持った高齢者が多い郊外地域
18	高齢化した三世代同居世帯が多い農漁村地域
19	アッパーミドル層が多く住む低層住宅地域
20	超高齢化した農漁村地域
21	富裕層住宅地

エリアタイプ	サンプル数				総計	罹患率		
	罹患なし(接種済)	罹患なし(接種なし)	罹患(接種済)	罹患(接種なし)		接種有	接種無	差分
1	1,024	1,761	104	343	3,232	9.2%	16.3%	7.1%
2	449	492	31	141	1,113	6.5%	22.3%	15.8%
3	1,201	1,755	95	351	3,402	7.3%	16.7%	9.3%
4	2,057	2,852	165	547	5,621	7.4%	16.1%	8.7%
5	349	690	33	141	1,213	8.6%	17.0%	8.3%
6	401	552	34	129	1,116	7.8%	18.9%	11.1%
7	746	1,273	65	259	2,343	8.0%	16.9%	8.9%
8	805	1,451	85	358	2,699	9.6%	19.8%	10.2%
9	421	633	43	120	1,217	9.3%	15.9%	6.7%
10	494	868	44	196	1,602	8.2%	18.4%	10.2%
11	1,251	1,878	116	360	3,605	8.5%	16.1%	7.6%
12	1,814	2,688	166	518	5,186	8.4%	16.2%	7.8%
13	925	1,445	80	286	2,736	8.0%	16.5%	8.6%
14	1,966	2,938	214	650	5,768	9.8%	18.1%	8.3%
15	1,423	2,102	117	343	3,985	7.6%	14.0%	6.4%
16	735	1,185	64	286	2,270	8.0%	19.4%	11.4%
17	1,325	2,193	121	497	4,136	8.4%	18.5%	10.1%
18	692	1,088	60	217	2,057	8.0%	16.6%	8.6%
19	521	863	48	178	1,610	8.4%	17.1%	8.7%
20	1,142	1,735	95	371	3,343	7.7%	17.6%	9.9%
21	292	407	30	96	825	9.3%	19.1%	9.8%
総計	20,033	30,849	1,810	6,387	59,079	8.3%	17.2%	8.9%

小さい子供がいる家庭では、 インフルエンザワクチンの接種有無により罹患率に大きな差が見られる

エリアタイプ別のインフルエンザ罹患率



ワクチン接種有無
で罹患率に大きな
差が見られる



【考えられる理由】
 小さい子供がいてワクチンを接種している家庭では、インフルエンザ対策の意識が高く、うがいや手洗い等の対策もよく講じられているため、罹患率が最も低く抑えられている可能性がある。
 一方、小さい子供がいる家でワクチンを接種していないと、インフルエンザに罹りやすい小さい子供の罹患を通じて家族も罹患していることが推察される。